カテゴリⅠ　正誤表（第 1 版）

頁	誤記箇所	誤	正
xiii	表中　7.オイルサンプリング カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
xiii	表中　8.潤滑剤の健全性（性状）監視 カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
xvi	表中　7.オイルサンプリング カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
xvii	表中　8.潤滑剤の健全性（性状）監視 カテゴリⅠの訓練時間	3	2.5
44	下 2 行 (CKB～ CKH)	CKH	CKM
57	13～14 行目	リチウム石けん系グリースの性能を維持しつつ，さらに耐熱性を向上させた～	金属石けん系グリースの性能を維持しつつ，耐熱性を向上させたものである.
92	下 2 行 各ノズル径の選定は，後で述べる油量計算式で行う(p95.24 行目以降).		記述削除
141	下 7 行 図 6.14 にアモルファス・フィルタの原理 [20] を	[20]	[21]
143	1 行　図 6.19[23]	[23]	[24]
149	下 8 行 1.2　公称ろ過精度 [33]	[33]	[32]
158	問題 6－6　選択式回答の序列番号	⑤,⑥,⑦,⑧	①,②,③,④
194	表 8.5 ②回転圧力容器式酸化安定試験の略称	(RPBOT)	(RPVOT)